

優秀経営農林水産業者

部門	氏名（住所）	受賞理由
園芸	かみむき のぶゆき 上向 信之 （琴浦町西宮）	①ハウス栽培も積極的に取り組み、琴浦ハウス二十世紀梨の増反に努めている。 ②年間様々な品種栽培（計9品種）に取り組み、技術の向上とリスク分散を図りつつ、有望品種でのジョイント栽培を積極的に導入し、作業の効率化による規模拡大を図っている。 ③果樹同志会や生産部役員（令和4年3月～）の活動を通じ、若手のリーダーとして梨生産部を牽引し、梨生産振興に努めている。
園芸	きしだ やすなり 岸田 泰成 （北栄町土下）	①新品種の情報積極的に入手して、その時期に適した品種へ高接ぎ更新を行っている（三水→二十世紀→新甘泉）。また、労力分散を図るためハウス栽培に取り組み、高品質な梨生産を心がけている。 ②40年前から青色申告を行い、経営分析を行うことでコスト低減に向けた取組に活かしている。 ③平成15年からJA鳥取中央東郷果実部役員を、平成19年から現在まで同果実部指導員、平成30年から同果実部ハウス部会長を歴任。 ④産地の発展・振興に貢献するため、部会発展に尽力し、常に研究心をもって日々営農している。
林産	株式会社 グリーン・シャイン 代表取締役 ひらた ひろし 平田 広志 （日南町三栄）	①林産事業を中心に森林施業を行っており、森林組合、日南町、造林公社からの請負及び受託契約により間伐作業及び皆伐作業を行い、年間約21,000 m ³ の素材生産を行う。 ②労働者の雇用を積極的に行い、個人の技術向上のための資格取得、研修参加によるスキルアップを図りながら、大型高性能林業機械を利用する作業システムを確立することにより、生産性の向上につなげている。 ③社内の事務員及び現場技能者が日々の作業完了後に集まり、日報を基に当日の作業内容を振り返り、翌日の作業内容の改善につなげている他、必要に応じて現場技能者同士が現場作業について話し合い、作業効率の向上を図っている。

部門	氏名（住所）	受賞理由
園芸 ・ 農産	さげしま ゆうじ 提嶋 勇治 （大山町國信）	①ブロッコリーの単位収量が高位で安定しており、令和4年にも770aの広範囲で作付けを行った。 ②季節によっては害虫被害を受けやすく栽培が難しい中、秀品率は常に9割台で推移しており、細心の注意を払いながら丁寧な経営を行うことができています。 ③平成24年から3年間、鳥取西部農協大山口支所ブロッコリー部会の部会長を務めるなど、ブロッコリー栽培を中心にその発展に貢献してきた。 ④長年の経営を維持しながら次世代（息子）への引継ぎも進んでおり、近年は今後を見据えた経営も行っている。
園芸	とくやま あつひと 徳山 篤仁 とくやま とよこ 徳山 登世子 （北栄町岩坪）	①施設園芸の重要性を認識し、施設化を進めており、3月から7月はスイカ、その後作としてほうれん草の作付けを行うことで、年間を通してハウスの端境期の解消を図り、農業所得の高位安定を図っている。 ②プラウでの天地返しなどの土壌改良や、複式簿記による経営分析を行う等、日々夫婦で協力しながら農業に取り組んでいる。 ③平成30年から令和元年まで大栄西瓜組合協議会の検査部長、令和2年以降現在まで同指導部長を歴任。産地の発展・振興に貢献するため、部会発展に尽力し、研究心と攻めの姿勢を心がけて農業を営む。
水産	にしむら ひろふみ 西村 浩文 （大山町中高）	①淀江地区において約15年漁業に携わっており、不安定な資源動向の中、常に新しい情報を取り入れ、積極的に漁場探索を行うなど、強い向上心を持って漁業操業を行っており、毎年安定した水揚げを確保し、県内刺網漁業においてトップクラスの実力を誇る。 ②コスト削減として、燃油対策事業の活用や入出港・漁場探索時等の減速航行を実施することで経営の安定化を図る。 ③新規就業希望者を研修生として受け入れ指導するなど、後継者育成にも努めており、漁業に対する高い意識と姿勢は他の漁業者の模範となっている。
畜産	ふくだ ひろし 福田 寛 （琴浦町筥津）	農林水産大臣賞に記載